

平成

29

年度入学用

愛知県立芸術大学

# 音楽学部

## 推薦入試

作曲専攻(音楽学)・声楽専攻・  
器楽専攻(弦楽器・管打楽器)

## 自己推薦特別入試

作曲専攻(作曲)

## 学生募集要項

## 愛知県立芸術大学アドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また愛知が生んだ芸術文化の拠点として国際的に開かれた芸術文化の核となることを目指し、次の三つの理念をかかげます。

- 1) 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指します。
- 2) 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指します。
- 3) 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指します。

その理念と目的に適う人材の育成のために、それぞれの専門分野にふさわしい資質をもつ次のような学生を求めています。

- 芸術を創作・研究する強い意志と感性を持ち、実技の基礎能力がある人。
- 美術界、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人。
- 広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人。

### ●音楽学部のアドミッション・ポリシー

豊かな感性と際立った個性、理論と技術の良好なバランス等をそなえ、音楽表現意欲が旺盛な学生を求めていきます。又、将来、この地域はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動の展開を目指すような、高邁且つ明確な目的意識と強い気概をもった学生を望んでいます。磨かれた感性、整えられた知識、練られた技術が感動を生み出します。

### ●音楽学部のカリキュラム・ポリシー

学生が幅広く音楽の基礎を学び、さらに発展させる過程で専門における表現力が身につくようカリキュラムが組まれています。入学当初から基礎教育を重視し、3、4年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うべく、各専攻には様々な実践的授業が用意されています。具体的な特徴として、学生の個性を最大限に伸ばすため、1年次から徹底したマンツーマン教育を行い、同時に幅広い授業科目を設定することにより音楽のプロフェッショナルに必要な知識、技術、見識を身につけます。充実した外国語科目群もその現れです。また教員組織は第一線で活躍する演奏家、研究者、作曲家等から構成され、最高水準の音楽に触れることで学生の学習意欲を高めます。

### ●音楽学部のディプロマ・ポリシー

愛知県立芸術大学音楽学部では確かな演奏技術や音楽作品を創作するための表現技法、音楽の学問的研究等、それぞれの学生が豊かな感性を養うとともに、表現技術を習得出来るよう、学部1年次から個人レッスンを中心とした基礎教育を行っています。3、4年次には将来の幅広い活動を支えるだけの応用力を養うべく、各専攻で様々な実践的カリキュラムが組まれています。又、4年次には創作、研究、演奏の成果を卒業作品、卒業論文、卒業演奏の発表によって評価し、国際的視野に立った芸術・研究活動の展開を目指すような、明確な目的意識と強い気概、実力を伴った人間性豊かな学生が育つことを望んでいます。

よって、以上の学習内容を習得し、所定卒業単位の取得と卒業作品・卒業論文・卒業演奏等により、学士の学位を授与します。

# 平成 29 年度愛知県立芸術大学音楽学部 推薦入試・自己推薦特別入試学生募集要項

## 1 趣 旨

本学で学ぶことを志望する意志が強く、優秀で意欲的な人材の発掘を目的に実施します。  
求める人物像は以下のとおりです。

- ・音楽に対する情熱と専門分野における基礎能力を持ち、研究する意思が強い人。
- ・自ら学び、自ら考え、より良く問題を解決するためにチャレンジ精神旺盛な人。
- ・創造力、探究心、発想力が豊かで行動力のある人。
- ・本学への強い入学希望を持ち、合格した場合、入学を確約できる人。

## 2 募 集 人 員

### I. 推薦入試

学部	学科	専攻 (コース)	入学定員	募集人員	備 考
音楽学部	音楽科	作曲	音楽学	2	若干名 入学定員 2 名の中に含みます。
		声 樂		30	若干名 入学定員 30 名の中に含みます。 ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス
	器楽	弦楽器		15	若干名 入学定員 15 名の中に含みます。 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
		管打楽器		20	若干名 入学定員 20 名の中に含みます。 フルート、オーボエ、クラリネット、バスーン(ファゴット)、サクソフォーン、ホルン、トランペッタ、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器

### II. 自己推薦特別入試

学部	学科	専攻 (コース)	入学定員	募集人員	備 考
音楽学部	音楽科	作曲	作曲	8	若干名 入学定員 8 名の中に含みます。

## 3 出 願 資 格

### I. 推荐入試（作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻）

以下の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者。

- (1) 次のいずれかに該当する者
  - ① 高等学校又は中等教育学校を平成 29 年 3 月卒業見込みの者
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
  - ③ 上記①②以外の学校を平成 29 年 3 月卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
 

※出願資格③により出願しようとする者は、平成 28 年 8 月 26 日（金）までに入試・広報課に申し出て、その指示を受けてください。
- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者
 

各学校において推薦できる人数は、作曲専攻(音楽学)、声楽専攻、器楽専攻(弦楽器)、それぞれの専攻(コース)につき 1 名までとします。器楽専攻(管打楽器)においては、木管楽器・金管楽器・打楽器にそれぞれ 1 名まで推薦できます。
- (4) 本学他学部および他の国公立大学の推薦入試に出願していない者

## II. 自己推薦特別入試（作曲専攻作曲コース）

平成 29 年 3 月 31 日現在において 35 歳以下の者で、以下の (1)、(2) の両方に該当するもの。

### (1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 29 年 3 月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 29 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 29 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 29 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの  
※出願資格⑧により出願しようとする者は、平成 28 年 8 月 26 日（金）までに入試・広報課に申し出て、その指示を受けてください。

### (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

## 4 出願期間

平成 28 年 10 月 26 日（水）から 11 月 2 日（水）まで

最終日の午後 5 時までに郵便で必着とします。ただし、11 月 2 日（水）午後 5 時以降に到着したものは、11 月 1 日（火）までの消印があり、かつ、書留速達郵便に限り受理します。

## 5 出願方法

- (1) 出願書類全てを同封し、「推薦入試（音楽）入学願書在中（○○専攻○○コース）」または「自己推薦特別入試（音楽）入学願書在中（作曲専攻作曲コース）」と朱書きし書留郵便（簡易書留可）で郵送してください。普通郵便及び直接持参は受理しません。
- (2) 作曲専攻作曲コース志願者の提出作品は、別便にて「自己推薦特別入試（音楽）作曲提出作品在中」と朱書きし書留郵便で郵送してください。

## 6 出願書類等

○印は、募集要項に綴込みの本学所定様式です。

書類等		摘要
入学願書	○	必要事項を記入してください。願書に記入する氏名と成績証明書等に記載された氏名とが異なる場合は、氏名変更の経緯が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
受験票	○	所定の欄に必要事項を記入してください。
受験者写真票	○	出願前 3 ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身・脱帽・縦 4 cm × 横 3 cm、裏面に氏名・志望専攻及びコースを記入。）を所定の位置に貼り付けてください。
入学検定料 17,000 円	○	1 入学検定料は、振込依頼書により必ず金融機関の窓口から送金してください。ゆうちょ銀行及び ATM からは送金しないでください。 2 検定料納付証明書は入学検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。 3 振込依頼書の「ご依頼人」欄は受験生本人の氏名で行なってください。 4 納付された入学検定料は返還しません。

書類等		摘要
調査書		<p>1 出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>2 指導要録の保存期間経過、廃校及び被災等により調査書の作成ができないときは、これに代わるべき機関による適宜の証明で調査書に代えることができます。</p> <p>3 【自己推薦特別入試のみ】高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者については、その試験の合格成績証明書または合格見込成績証明書をもって調査書に代えることができます。 ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も提出してください。</p> <p>4 【自己推薦特別入試のみ】私費外国人留学生については、次の①②を提出してください。</p> <p>①小学校入学から最終出身校までの学歴を記載したもの ②最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書 (①②とも日本語訳を添付してください。)</p>
志願理由書	○	本学を志願した理由を具体的に書いてください。(自書)
各専攻(コース)別出願書類		本紙4ページの【各専攻(コース)別出願書類等一覧】のとおりです。
音楽活動記録書	○	現在までの音楽活動について、本紙5ページの【各専攻(コース別)音楽活動記録書記載要領】に従って詳細に書いてください。 ページ数が2ページを超える場合は、音楽活動記録書の2枚目をコピーして使用してください。
受験票送付用封筒	○	(「受験票在中」と表示してある本学所定の長形3号封筒) 志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し、362円分の切手を貼付してください。
第1次選考試験合否通知用封筒		長形3号の封筒を各自用意し、宛先欄に志願者の氏名、住所、郵便番号を記入の上、682円分の切手を貼り付け、「速達郵便」「簡易書留」と朱書してください。 (第1次選考合否通知の書類送付時に使用するので、確実に本人に届く住所を記入してください。)
<u>【推薦入試のみ】</u> 推薦書	○	<p>1 出身学校長が作成し、厳封したものとします。</p> <p>2 各高校において推薦できる人数は、作曲専攻(音楽学)、声楽専攻、器楽専攻(弦楽器)、それぞれ1名までとします。器楽専攻(管打楽器)においては、木管楽器・金管楽器・打楽器にそれぞれ1名まで推薦できます。</p>
<u>【推薦入試のみ】</u> 学校長あて合否結果通知用封筒		長型3号の封筒を各自用意し、宛先欄に出身学校の郵便番号、住所、学校名、学校長名を明記し、682円分の切手を貼り付け、「速達郵便」「簡易書留」と朱書してください。

【各専攻（コース）別出願書類等一覧】

専攻 コース	出願書類等
作曲	<p>A 提出作品 3 曲 楽譜またはCDかDVD(CD-R、DVD-R等も含みます。)の音源にて提出する。 ただし、少なくとも 1 作品は五線定量記譜法による楽譜であること。 作品資料提出はコピー(A3 サイズ以下)とし、志願者の氏名、題名、制作年を明記、必要があれば補足説明等も付けてください。必ず本人の制作物であること。 (作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください。)</p> <p>B 返却返信用封筒</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 作品の入る封筒に、「返却作品在中」と朱書きしてください。</li> <li>2 返却方法は、郵便局のゆうパックとします。 ゆうパック用紙(料金着払い用)に以下を記入してください。 【お届け先】に、志願者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入。 【ご依頼主】に、同上と記入。【品名】に、楽譜と記入。【配達希望日】は、記入しない。</li> <li>3 上記のゆうパック用紙を返却用封筒に貼付してください。</li> </ol>
音楽学	<p>A 小論文(2,000字~4,000字程度) 本学で学び、研究したい事柄について、具体的に書いてください。 本募集要項に付されている提出用表紙を貼り付けて提出してください。</p> <p>B 別添「音楽学提出用紙」(音楽の基礎的能力試験における楽器演奏用)に使用する楽器及び演奏曲目を記入し、提出してください。</p> <p>C 音楽活動記録書の特記事項として外国語能力を示す公的証明書がある場合、そのコピーを提出してください。</p>
声楽	<p>A 演奏曲目の提出 演奏曲目については別添「声楽曲目提出用紙」に必要事項を記入し、提出してください。</p> <p>B 伴奏用楽譜の提出 伴奏用楽譜は 1 曲ごとに指定のとおりに作成し、「提出楽譜表紙添付票」を貼って提出してください。</p>
弦楽器	<p>A 曲目の提出(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス) 課題曲(b)(c)・自由曲については別添「弦楽器提出用紙」に作曲者名、曲名を欧文で記入し、提出してください。</p> <p>B 楽器借用希望の提出(コントラバス) 別添「弦楽器提出用紙」に楽器借用希望の有無を回答のうえ、提出してください。 * ハープに関しては「弦楽器提出用紙」の提出は不要です。</p>
器楽	<p>演奏を録音したCD※を提出してください。課題曲は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■フルート：任意のエチュードより 1 曲を選択</li> <li>■オーボエ：P. 15 「第 2 次選考試験 課題曲 オーボエ(2)」より 1 曲を選択</li> <li>■クラリネット：P. 15 「第 2 次選考試験 課題曲 クラリネット(1)」より 1 曲を選択</li> <li>■バースーン：J. Weissenborn: Bassoon Studies for Advanced Pupils Op. 8 Vol. 2 (版の指定なし) より No. 15 以降のもの 1 曲を選択</li> <li>■サクソフォーン：任意のエチュードより 2 曲を選択</li> <li>■金管楽器：共通課題 C. Kopprasch: 60 Etudes より No.15 (使用版は以下のとおり) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホルン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーファニアム： 全音楽譜出版社(なお、同じ曲であれば版は指定しない)</li> <li>・テューバ：Robert King 版</li> </ul> </li> <li>■打楽器：P. 17 「第 2 次選考試験 課題曲 打楽器」において、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(A)を選択した者：W. F. Ludwig: Collection Drum Solos (Ludwing Drum 版) より Rambling Ratamacues</li> <li>・(B)を選択した者：Clair Omar Musser: Etude in C Op. 6 より No. 10 (Studio 4 Productions 版)</li> </ul> </li> </ul> <p>※CDの提出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーディオCDプレイヤーで再生可能なCD(CD-DA形式)を提出してください。提出前に、再生可能かどうか必ず確認してください。</li> <li>・CD本体とケースに、志願者氏名、楽器名、曲名を明記してください。</li> <li>・必ず本人の演奏を録音してください。</li> <li>・提出されたCDは、返却しません。</li> </ul>

**【各専攻（コース）別音楽活動記録書記載要領】**

専攻（コース）		記載要領
作曲	作曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲、和声、対位法、楽典、ソルフェージュ、楽器及び声楽等の学習歴について、使用した教科書、進度、課題実施の程度等を、師事した場合には、先生の氏名も含めて学習の概要が判るように記載してください。</li> <li>作曲作品について、タイトルと編成、演奏された場合には、演奏者名、演奏会場等を記載してください。</li> <li>音楽及び芸術関連の課外活動、コンピュータ音楽制作、演奏活動、受賞歴、出版、放送、留学経験、その他（音楽以外も含む）の特記事項がある場合にも積極的に記載してください。なお、複数メンバーによる活動の場合には、自身が担当した事項も記載してください。</li> </ul>
	音楽学	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽歴（演奏、創作等）とこれまでの音楽とのかかわりを詳細に記載してください。その他、外国語の学習歴、能力として特記事項（帰国子女等）があれば記載してください。英検（実用英語技能検定）、TOEICテスト、仏検（実用フランス語技能検定試験）、独検（ドイツ語技能検定試験）等の外国語の能力を示す公的証明書を所持している場合、そのコピーを添付してください。</li> </ul>
声楽		<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに師事した声楽の先生の氏名を記載してください。</li> <li>学習した主な曲目を記載してください。</li> <li>受賞歴、演奏活動、部活動、またその他の特記事項がある場合には詳細に記載してください。</li> </ul>
器楽	弦楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験する楽器において これまでに師事した先生の氏名を記載してください。 今まで学習したエチュード、協奏曲、その他の楽曲も記載してください。</li> <li>受賞歴、留学経験、放送、特筆に値すると思われる演奏会等があれば、記載してください。（受験する楽器以外の事柄でも記載して構いません。）</li> </ul>
	管打楽器	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに師事した先生の氏名を記載してください。</li> <li>学習した教則本、エチュード、楽曲を詳細に記載してください。</li> <li>受賞歴、資格、演奏活動、部活動等、特記事項がある場合には詳細に記載してください。</li> </ul>

**記載事項の記入例**

**学習**

- ・和声「和声 理論と実習」第一巻を習得。（三ヶ峯太郎先生の下、全課題を実習）
- ・ピアノをヤマカワ音楽教室（グループレッスン）にて習う。平成〇年まで
- ・作曲を三ヶ峯太郎先生に師事。平成〇年まで
- ・ヴァイオリンを長久手次郎先生に師事。平成〇年まで
- ・県立長岩高等学校音楽科（器楽）に入学。
- ・「24のカプリース」（N. Paganini）を習得
- ・日本ミュージック・サマースクールに参加。Longrock 氏の公開レッスンを受講。「シャコンヌ」（G. B. Vitali）

**作品・演奏**

- ・「○△○△○」を作曲、演奏：長久手三郎、場所：長岩市民会館小ホール
- ・△△△△△作曲の「○○○○」を弦楽四重奏に編曲
- ・長岩市ピアノ発表会にて「ピアノソナタ第11番」（W. A. Mozart）第一楽章を演奏
- ・県立長岩高等学校音楽科発表会にて、イタリア歌曲3曲（編曲：三ヶ峯太郎）を演奏
- ・「ヴァイオリン協奏曲第3番」（W. A. Mozart）を演奏、  
管弦楽：長岩市民管弦楽団、指揮：長久手次郎、場所：長岩市民会館大ホール

**受賞、出版、放送**

- ・ピアノ作品作曲コンクール入賞、ピアノのための「ABC」
- ・吹奏楽のための「いろは」がCDに収録される。（SOVI:12345）
- ・東海三県中学生ヴァイオリン・コンクール入賞。「調和の幻想第3番」（A. L. Vivaldi）第一楽章
- ・中部高校生音楽コンクール第1位「ヴァイオリン協奏曲第3番」（W. A. Mozart）
- ・長岩FMの「○□クラシック」に出演、「アヴェ・マリア」（F. P. Schubert）を演奏

**その他**

- ・私立長岩中学入学。音楽部に入部して合唱の伴奏を行なう。
- ・長岩中学音楽部が合唱コンクールにて金賞を受賞。（伴奏者として出演）
- ・県立長岩高等学校吹奏楽部にてHornを担当、木管五重奏でアンサンブル・コンクール（東海大会）に出演し金賞を受賞。
- ・県立長岩高等学校生徒会長を務める。
- ・英語検定2級取得。

**※注意：記載事項の最終ページの「以上、記載事項に相違はありません。」の欄に、  
署名・捺印してください。**

## 7 選 抜 方 法

### 【各専攻（コース）別選抜方法】

#### 第1次選考試験

専攻（コース）		選 択 方 法
作曲	作 曲	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、調査書)及び提出作品3曲により審査を行なう。
	音楽学	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書、小論文)により審査を行なう。
声 楽		提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)により審査を行なう。
器楽	弦楽器	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)により審査を行なう。
	管打楽器	提出書類(音楽活動記録書、志願理由書、推薦書、調査書)及び録音物により審査を行なう。

#### 第2次選考試験（第1次選考試験合格者に限る。）

専攻（コース）		選 択 方 法
作曲	作 曲	実技試験、口述試験による審査を行なう。 • 1日目 (実技試験、口述試験) 器楽曲作曲 3時間 与えられたモティーフを使用し器楽曲を作曲する。 口述試験 提出した3作品と器楽曲作曲作品の解説を中心とした口述試験。
	音楽学	筆記試験及び口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 • 1日目 (筆記試験、口述試験) 音楽学の基礎的能力試験 1時間 口述試験 提出した小論文に関する口述試験。 • 2日目 (音楽の基礎的能力試験) 楽器演奏（注）、ソルフェージュ、楽典
声 楽		実技試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 • 1日目 (実技試験) 自由曲（演奏時間6分程度、複数曲可） • 2日目 (音楽の基礎的能力試験) ピアノ
器楽	弦楽器	実技試験及び口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 • 1日目 (実技試験、口述試験) 課題曲 自由曲（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスのみ） 口述試験 • 2日目 (音楽の基礎的能力試験) ピアノ、ソルフェージュ、楽典
	管打楽器	実技試験及び口述試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行なう。 • 1日目 (実技試験、口述試験) 課題曲 口述試験 • 2日目 (音楽の基礎的能力試験) ピアノ、ソルフェージュ、楽典

(注) 任意の楽器による独奏（伴奏なし）で、ピアノ以外の楽器の場合は各自で用意すること。  
 自由曲1曲（時間の都合により演奏をカットする場合があります）。楽譜の使用可。

## **8 出願・受験上の諸注意**

- (1) 出願書類に不備、記載もれがあるときは受理しません。
- (2) 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。
- (3) 第2次選考当日、本学受験票を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた者は、試験場に入れない場合もありますから注意してください。
- (4) 受験票は、平成28年11月7日(月)以降に送付します。11月11日(金)までに本学受験票が到着しない場合は、入試・広報課に照会してください。
- (5) 出願後、連絡先を変更したいときは、速やかに入試・広報課まで書面(連絡先住所にフリガナをつけてください。)にて届け出してください。
- (6) 出願に際しての照会は、入試・広報課まで電話又は郵便でしてください。ただし、郵便での照会には、必ず返信用封筒(連絡先住所、氏名、郵便番号を明記し、返信用切手82円分を貼ってください。)を同封してください。

## **9 障がいを有する等の入学志願者との事前相談について**

本学に入学を志願する者で、障がいを有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

- (1) 申し出の時期  
平成28年9月30日(金)まで
- (2) 申し出の方法  
各自で相談申請書を作成し、入試・広報課まで申し出てください。記載内容は以下のとおりです。  
①志望学部・専攻 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項  
④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項  
なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。
- (3) 相談の時期  
平成28年10月14日(金)まで
- (4) 相談の方法  
相談申請書に医師の診断書(身体障害者手帳を有する者はその写し)、担当教員等の所見書(高等学校等での学習状況・生活状況を記載)を添えて出身高等学校等を通じて提出してください。  
必要に応じ、本学において志願者との面談等を行ないます。

## **10 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先**

愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114(〒480-1194)

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試・広報課

電話 0561-76-2603(直通) 照会時間は午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等大学事務局が休業となる日は除きます。

## **11 試験日程及び合格発表**

### **第1次選考試験出願期間**

出願期間	備考
平成28年10月26日(水)～11月2日(水)	最終日の午後5時までに郵便で必着とします。ただし、11月2日(水)午後5時以降に到着したものは、11月1日(火)までの消印があり、かつ、書留速達郵便に限り受理します。

### **第1次選考試験合格者発表**

年月日及び時間	場所	備考
平成28年11月17日(木) 午前11時	本学管理棟で掲示します。 (注)	合格者には、「第1次選考試験合格通知書」を、不合格者には、「第1次選考試験不合格通知書」を本人あてに送付します。

第2次選考試験（第1次選考試験合格者に限る。）

専攻 (コース) 年月日	作曲		声 楽	器 楽	
	作 曲	音 楽 学		弦 楽 器	管打楽器
平成 28 年 11月 26 日 (土)	9:30～12:30 器楽曲作曲  13:30～ 口述試験	9:30～10:30 音楽学の 基礎的能力試験  11:00～ 口述試験	10:00～ 自由曲	9:30～ 課題曲 自由曲 口述試験	9:30～ 課題曲 口述試験
平成 28 年 11月 27 日 (日)		9:30～ 音楽の 基礎的能力試験 (楽器演奏、 ソルフェージュ、 楽典)	9:30～ 音楽の 基礎的能力 試験 (ピアノ)	9:30～ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ エージュ、楽典)	9:30～ 音楽の 基礎的能力試験 (ピアノ、ソルフ エージュ、楽典)

最終合格者発表

年月日及び時間	場 所	備 考
平成 28 年 12月 5 日 (月) 午前 11 時	本学管理棟で掲示します。 (注)	合格者には、入学許可通知書及び入学手 続要領を送付します。推薦校長には、 合否結果を通知します。

(注) 電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。本学ホームページにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

入試情報提供専用ホームページアドレス <http://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

愛知芸大 合格発表



12 入 学 手 続

- (1) 手続日  
平成 28 年 12 月 22 日 (木) 午前 9 時 30 分～午後 3 時
- (2) 場 所  
本学管理棟
- (3) 入学料及び保険料  
286,660 円  
(内訳) 入学料 282,000 円  
学生教育研究災害傷害保険・付帯賠責保険 保険料 4,660 円
  - ア 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、入学料は、改定されることがあります。
  - イ 納付された入学料は返還しません。
  - ウ その他入学時に要する経費がありますが、金額・納入方法については合格者に別途連絡します。
- (4) 入学料及び保険料振込にあたってのお願い
  - ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を納入し、所定の提出書類と入学料及び保険料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。
  - イ 入学料の納入は、金融機関の窓口で行ってください。ゆうちょ銀行及び ATM からは送金しないでください。
  - ウ 振込金依頼書の「ご依頼人」欄は合格者本人の氏名で行ってください。
- (5) 入学手続の諸注意
  - ア 入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
  - イ その他入学手続の詳細については、合格者に別途通知します。
  - ウ 日本国籍以外の方は、上記の他、在留カードの写し（両面）を入学手続日までに提出してください。

- エ 入学手続をされた方については、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する個人情報が独立行政法人大学入試センター及び国公立大学に送達されます。
- オ 1つの国公立大学（国際教養大学及び新潟県立大学を除く。以下同じ。）・学部に入学手続を完了した者は、それ以降これを辞退して他の国公立大学・学部及び本学の他専攻に入学手続をすることができません。
- カ やむを得ない事情で入学を辞退する者は、平成28年12月22日(木)までに入試・広報課へ申し出てください。

### 13 授業料

年額 535,800円（前期・後期各267,900円。前期分は4月、後期分は10月に納入します。）

- (1) 授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、授業料は改定されることがあります。
- (2) 平成29年度前期授業料振込依頼書は、平成29年4月1日付で出願時の住所に送付します。

### 14 推薦入試に不合格になった者の一般入試への再出願について

推薦入試に不合格になった者で、大学入試センター試験を受験した者は、本学又は他の国公立大学の個別学力検査を受験することができます。

### 15 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について

#### (1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せてください。

ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

イ 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者

ウ 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成28年10月7日(金)
申請期限	入学試験出願期間開始日の1週間前まで

#### (2) 入学料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問合せてください。

ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

イ 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者

ウ 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問合せ期限	平成28年12月9日(金)
-------	---------------

#### (3) 授業料の免除

##### ○日本人学生

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。詳細については、合格者に別途連絡します。

ア 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

イ 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者

ウ 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者

エ 上記ア、イ、ウ以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細、質問等は下記問い合わせ先にご連絡ください。

(4) 問合せ先

学務部学務課 学生支援・国際連携係 電話 0561-76-2843（直通）

## 16 入試情報

### 1. 評価基準

#### (1) 第1次選考試験

専攻（コース）		試験科目	評価基準
作曲	作曲	書類審査（提出作品を含む。）	<ul style="list-style-type: none"><li>作曲の基礎能力や資質、創造力、探究心、発想力をみる。</li><li>基礎的な学力をみる。</li></ul>
	音楽学	書類審査（小論文を含む。）	<ul style="list-style-type: none"><li>音楽学の学習に必要な基礎的能力や、資質をみる。</li><li>基礎的な学力をみる。</li></ul>
声楽		書類審査	<ul style="list-style-type: none"><li>声楽を研究する意欲をみる。</li><li>基礎的な学力をみる。</li></ul>
器楽	弦楽器	書類審査	<ul style="list-style-type: none"><li>弦楽器を研究する意欲をみる。</li><li>基礎的な学力をみる。</li></ul>
	管打楽器	書類審査（録音による審査を含む。）	<ul style="list-style-type: none"><li>管打楽器を研究する意欲、基礎的な学力をみる。</li><li>演奏能力をみる。</li></ul>

#### (2) 第2次選考試験

専攻（コース）		試験科目	評価基準
作曲	作曲	器楽曲作曲	作曲理論の基礎能力、構成力、発想力をみる。
		口述試験（提出作品に関する口述を含む。）	人物の志向性や作曲を研究する意欲と基礎的能力をみる。
	音楽学	音楽学の基礎的能力試験（英語力を試す出題を含む。） 口述試験（小論文に関する口述を含む。） 音楽の基礎的能力試験	音楽学の学習に必要な基礎的能力をみる。
声楽		自由曲	声楽家としての資質、表現力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	音楽の基礎的能力（ピアノ）をみる。
器楽	弦楽器	課題曲、自由曲及び口述試験	演奏家としての資質、技術、表現力をみる。
		音楽の基礎的能力試験	音楽の基礎的能力（ピアノ、ソルフェージュ、楽典）をみる。
	管打楽器	課題曲及び口述試験 音楽の基礎的能力試験	演奏に際しての表現力、創造力、技術力、基礎的能力をみる。 音楽の基礎的能力（ピアノ、ソルフェージュ、楽典）をみる。

2. 点数配分

(1) 第1次選考試験 100点満点

専攻 (コース)		試験科目	配点
作 曲	作 曲	書類審査 (提出作品を含む。)	100
	音 楽 学	書類審査 (小論文を含む。)	
声 楽		書類審査	
器 樂	弦 楽 器	書類審査	
	管打楽器	書類審査 (録音による審査を含む。)	

(2) 第2次選考試験 1,000点満点

専攻 (コース)		試験科目	配点
作 曲	作 曲	器楽曲作曲 口述試験 (提出作品に関する口述を含む。)	400 600 合計 1,000
	音 楽 学	音楽学の基礎的能力試験 (英語力を試す出題を含む。) 口述試験 (小論文に関する口述を含む。) 音楽の基礎的能力試験	300 500 200 合計 1,000
声 楽		自由曲 音楽の基礎的能力試験	800 200 合計 1,000
器 樂	弦 楽 器	課題曲及び自由曲 口述試験 音楽の基礎的能力試験	600 200 200 合計 1,000
	管打楽器	課題曲 口述試験 音楽の基礎的能力試験	700 100 200 合計 1,000

3. 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

[開示範囲]

- ・ 科目別得点
- ・ 総合得点
- ・ 総合得点による順位

(1) 開示請求期間

最終合格発表日から1ヶ月間（平成29年1月4日（水）まで）

午前9時から午後5時まで

土・日曜日、祝日等大学事務局が休業となる日は除く。

本学管理棟3階 芸大総務課

本人部分のみ閲覧

受験票、身分証明書（学生証、運転免許証、健康保険証またはパスポートのうちいずれか）

受験者本人が、口頭で芸大総務課に申し出てください。

電話、E-mail等による成績の開示はいたしません。

芸大総務課 電話 0561-76-2492（直通）

(2) 開示請求受付窓口

(3) 開示の方 法

(4) 開示請求に必要な書類

(5) 開示請求方 法

(6) そ の 他

(7) 開示に関する問合せ先

## **第2次選考試験 音楽の基礎的能力試験**

音楽の基礎的能力試験（ピアノ、楽器演奏、ソルフェージュ、楽典）を課します。

### **ピアノ**

声楽専攻、器楽専攻（弦楽器、管打楽器）の志願者に課します。

J. S. Bach: Inventionen BWV772～786

J. S. Bach: Sinfonien BWV787～801

上記より任意の1曲を選択し、暗譜で演奏してください。（繰り返しなし）

時間の都合で演奏を一部省略することがあります。

### **楽器演奏**

作曲専攻（音楽学）の志願者に課します。

任意の楽器による独奏（無伴奏）で、ピアノ以外の楽器の場合は各自で用意すること。

自由曲1曲を演奏してください。時間の都合により演奏をカットする場合があります。

楽譜の使用可。

### **ソルフェージュ**

作曲専攻（音楽学）、器楽専攻（弦楽器、管打楽器）の志願者に課します。

#### **新曲視唱**

歌詞を伴わない初見視唱1題

#### **聴音**

単旋律課題1題

4声体和声課題1題（器楽専攻（弦楽器）のみ）

### **樂 典**

作曲専攻（音楽学）、器楽専攻（弦楽器、管打楽器）の志願者に課します。

所要時間は40分程度。

音楽の学習に必要な基礎知識一般（音程、和音判別及び所属調等）

## **第2次選考試験 課題曲 等**

### **1. 声楽専攻**

演奏時間6分程度の自由曲（任意の曲）

- (1) 演奏曲目は複数になつても構いませんが、演奏時間の合計が6分程度になるようにしてください。5分未満の場合は失格になることがあります。
- (2) 暗譜で演奏してください。
- (3) アリアは原則として、原調、原語で演奏してください。
- (4) 演奏部分を当日指定することができます。
- (5) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (6) 伴奏者は本学で用意します。

### **2. 器楽専攻（弦楽器コース）**

器楽専攻（弦楽器）共通事項

- (1) 繰り返しなしで暗譜にて演奏してください。
- (2) 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- (3) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- (4) ヴァイオリン、ヴィオラの課題曲(b)、(c)及び自由曲、チェロの課題曲(b)及び自由曲、コントラバスの自由曲については、弦楽器提出用紙に作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- (5) コントラバスの受験者は、弦楽器提出用紙の楽器借用希望欄の希望の有無に○を付けてください。
- (6) ハープの受験者は、本学で用意した楽器で演奏してください。楽器の持込は不可。

#### **ヴァイオリン**

##### **(1) 課題曲**

(a) Carl Flesch: Scale System より e-moll

No. 5 全部、No. 6 (1~4 小節) 、No. 7 (1~4 小節) 、No. 8 (1~4 小節)

スラーは、No. 5 は C-dur に準じ、重音は4分音符単位とします。

リズムは C-dur に準じます。

(b) N. Paganini: 24 Capricci für Violine solo Op. 1 より任意の1曲。

(c) 下記2曲のうち1曲を選択して演奏してください。

J. S. Bach: Sonate für Violine solo Nr. 1 BWV1001 より Adagio

J. S. Bach: Partita für Violine solo Nr. 2 BWV1004 より Sarabanda

##### **(2) 自由曲**

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章を演奏してください。

カデンツアを含みます。ただし、次の3曲はカデンツアの前までとします。

A. Glazunov: Konzert a-moll Op. 82

N. Paganini: Konzert D-dur Nr. 1 Op. 6

H. Vieuxtemps: Konzert a-moll Nr. 5 Op. 37

## ヴィオラ

### (1) 課題曲

(a) Carl Flesch: Scale System より任意の調

No. 5 全部 リズムとスラーは、C-dur に準じます。

(b) 次の3つの練習曲集より任意の1曲

B. Campagnoli: 41 Caprices Op. 22

P. Rode: 24 Caprices

R. Kreutzer: 42 Etudes ou Caprices

(c) J. S. Bach: 6 Suiten für Violoncello BWV1007～1009 より任意の楽章。

### (2) 自由曲

古典派の任意の協奏曲の第1楽章を演奏してください。カデンツアを含みます。

## チェロ

### (1) 課題曲

(a) J. Loeb: Gammes et Arpèges より Es-dur

イ) 4オクターブの音階

ロ) 4オクターブの分散3度

ハ) 4オクターブのアルペッジョ

スラーは、イ)、ロ) は4つずつ、ハ) は3つずつとします。

(b) J. L. Duport: Studies for Cello より任意の1曲

### (2) 自由曲

古典派以降の任意のチェロ協奏曲の第1楽章を演奏してください。

カデンツアを含みます。

## コントラバス

### (1) 課題曲 (a)、(b) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。

(a) 音階 B-dur 2オクターブ 譜例参照

譜例

(b) J. Hrabě: 86 Etüden より Nr. 7

### (2) 自由曲

任意の自由曲を演奏してください。

## ハープ

- (1) 課題曲
  - (a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes pour la Harpe  
Cinquante Etudes Op. 34 2<sup>ème</sup> Livre より No. 39 と No. 48
  - (b) F. J. Naderman: 7 Sonates progressives より No. 5 Prélude と Sonatina 全曲
- (2) 自由曲はありません。

## 3. 器楽専攻（管打楽器コース）

伴奏者は本学で用意します。

## フルート

- (1) J. Andersen: 24 Studies Op. 21 より No. 3, 10 から当日指定します。  
繰り返し無しで演奏して下さい。
- (2) W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 第1楽章<カデンツア付き>  
カデンツアは任意のもの  
(1)、(2)いずれも版の指定はしない。

## オーボエ

下記より当日指定します。

- (1) W. Ferling: 48 Etudes より No. 1~18  
L. Wiedemann: 45 Etudes より No. 12, 13, 16, 28
- (2) G. Ph. Telemann: Twelve Fantasias for Flute without Bass より No. 2, 3, 6  
(1)、(2)いずれも版の指定はしない。

## クラリネット

- (1) C. Rose: 40 STUDIES FOR CLARINET (C. Fischer 版) より No. 22~32 の中から当日指定します。
- (2) Weber: Variations Op. 33 for clarinet and piano (版の指定なし)

## バスーン（ファゴット）

- (1) J. Weissenborn: Bassoon Studies for Advanced Pupils Op. 8 vol. 2 (版の指定なし) より No. 20, 21, 23, 29 の中から 2 曲を当日指定します。
- (2) G. Ph. Telemann: Sonata in f minor I・II 楽章 (版の指定なし)

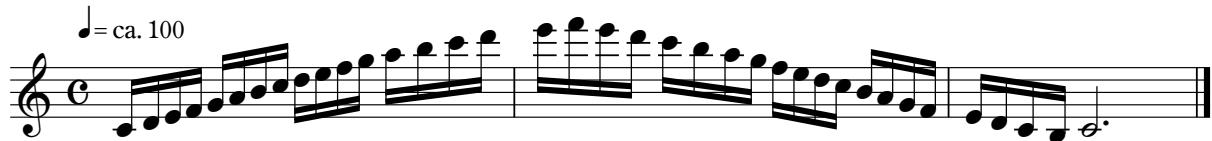
## サクソフォーン

### (1) 音階

譜例の形の音階を各調（♭は6つ、♯は5つまで）より当日指定します。

- テンポは四分音符=ca. 100 とします。
- アーティキュレーションは、当日指定します。
- 暗譜で演奏してください。

#### 譜例



### (2) Ferling: 48 Etudes より

No. 13, 14, 15, 16, 17, 18, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 35, 36 の中から当日指定します。

(版の指定なし)

### (3) P. Creston: Sonata Op. 19 より第1楽章

(Shawnee Press 版)

## ホルン

W. A. Mozart: Konzert für Horn Nr. 4 (Breitkopf 版) より第1楽章 カデンツア無し

## トランペット

Théo Charlier: Solo de Concours (Schott 版)

## トロンボーン

E. Bozza: Ballade Op. 62 (Leduc 版)

## バストロンボーン

E. Bozza: New Orleans (Leduc 版)

## ユーフォニアム

J. Demersseman: Grande fantaisie sur Don Juan de W. A. Mozart (Billaudot 版)

※印繰り返し無し

## ティューバ

A. Vivaldi: Sonata No. 3 in a minor (編曲、監修 R. Winston Morris)

(Shawnee Press 版)

## 打楽器

下記の(A)または(B)のどちらかを選択し演奏してください。

※ (A) を選択した場合は、受験票の「区分」欄に「打楽器 (A)」と、(B) を選択した場合は、「打楽器 (B)」と記載してください。

※スネアドラムは各自持参したものを使用してください。

※マリンバは本学の楽器を使用してください。

※演奏を途中でカットする場合があります。

### (A)

#### スネアドラム

- (1) W. F. Ludwing: Collection Drum Solos (Ludwing Drum 版) より
  1. Three Camps (16 ページ)
  2. Dixie (9 ページ)、Dinner Call (17 ページ)、Rambling Ratamacues (18 ページ)  
の中から当日指定。  
すべて繰り返しあり、ロールは必ずダブルストロークを使用 (バズロール、クローザロールの使用は不可)、装飾音符は全てオープンで演奏してください。
- (2) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版) より 25 番  
(テンポ 4 分音符=60~65、装飾音符はすべてオープンで演奏)
- (3) Portraits In Rhythm (Alfred 版) より 38 番  
(テンポ 付点 4 分音符=60 で演奏すること)

#### マリンバ

- (1) J. S. Bach: Sonate Nr. 1 für Violine solo BWV 1001 より Presto  
(繰り返し無し、版の指定なし、実音で演奏)

### (B)

#### スネアドラム

- (1) Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版) より 25 番  
(テンポ 4 分音符=60~65、装飾音符はすべてオープンで演奏)

#### マリンバ

- (1) J. S. Bach: Sonate Nr. 1 für Violine solo BWV 1001 より Presto (繰り返し無し)、Fuga  
(版の指定無し、実音で演奏)

平成 28 年度 愛知県立芸術大学音楽学部推薦特別入試 入試問題

■**楽典**（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

以下の設間に答えよ。

**問題 1** *Ges dur* の下属調の主音の減 5 度下の音を主音とする短調の平行調を日本語で答えよ。

**問題 2** 変ホ長調の音階とニ短調の和声短音階とに共通する音を属音とする調名を全てドイツ語で記せ。ただし、長調は大文字、短調は小文字で記すこと。  
(例：D *dur*, d *moll* 等)

**問題 3** 譜例 1（別紙）について以下の設間に答えよ。

- (1) 譜例は、あるピアノ作品の曲頭部分であるが、ここで用いられている音階を日本語、または英語で答えよ。  
(2) 高音部譜表の部分を増 4 度下に移調し、ソプラノ譜表上に記せ。ただし、音符以外の情報も全て記すこと。

**問題 4** 譜例 2（別紙）について以下の設間に答えよ。

(1) 譜例は、ある有名なオペラのアリアのピアノ リダクション譜である。このオペラの作曲者と曲名を以下の選択肢の中から選び記号(アルファベット)で答えよ。

- |              |           |            |           |          |          |
|--------------|-----------|------------|-----------|----------|----------|
| a. Beethoven | b. Mozart | c. Rossini | d. Wagner | e. Weber | f. Bizet |
| g. 椿姫        | h. タンホイザー | i. 魔弾の射手   | j. 魔笛     | k. フィデリオ |          |
| l. セビリアの理髪師  | m. カルメン   |            |           |          |          |

(2) ①～⑤で示される音程とその転回音程を答えよ。

(3) Ⓐ～Ⓖで示される和音の種類を答えよ。（例：長三和音）

(4) Ⓥ Ⓦ で示される非和声音の種類を答えよ。

(5) 冒頭から第 6 小節までの部分の調性をドイツ語で答えよ。

(6) 第 7 小節目から第 9 小節と第 11 小節目から第 15 小節は一時的に転調している。それぞれその調性をドイツ語で答え、主調との関係を以下の選択肢の中から選び記号（アルファベット）で答えよ。

- |        |        |       |        |           |
|--------|--------|-------|--------|-----------|
| a. 同主調 | b. 平行調 | c. 属調 | d. 下属調 | e. 属調の平行調 |
|--------|--------|-------|--------|-----------|

(楽典続き)

## 譜例 1

**Modéré (♩ = 88)**

## 譜例 2

**Allegro assai**

Der Hö - le Ra - che kocht in mei-nem

**Allegro assai**

Her - zen, Tod und Ver - zweif - lung,

(X)

(2)

(3)

A

B

(楽典続き)

Annotations on the musical score:

- (4)**: Circles notes at measure 7, measures 11-12.
- (5)**: Circles notes at measure 11, measures 15-16.
- C**: Boxes measures 7-8, dynamic *fp*.
- D**: Boxes measures 11-12, dynamic *p*.
- E**: Boxes measures 15-16, dynamic *f*.
- Y**: Circles notes at measure 11, measures 15-16.
- F**: Boxes measures 11-12, dynamic *fp*.
- G**: Boxes measures 15-16, dynamic *p*.

Text from the vocal part:

Tod und Ver - zweif - lung flam - - - met um mich her!  
 Fühlt nicht durch dich Sa - ra - stro - To - des - schmer - zen, Sa -  
 - ra - stro - To - des - schmer - zen,

## ■聴音

### ・旋律（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

（主音及び主和音を与える。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。  
4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

The musical score consists of three staves of music. Staff 1 starts with a quarter note followed by eighth-note pairs. Staff 2 features sixteenth-note patterns. Staff 3 shows eighth-note pairs with some grace notes and a measure containing three eighth notes.

### ・四声体和声（器楽専攻弦楽器コース）

（最初に主音を与える。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。）

The musical score consists of two staves of music. The top staff uses soprano and alto voices, while the bottom staff uses bass and tenor voices. The music includes various chords and harmonic progressions.

■新曲視唱（作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース）

（予見時間は 1 分 30 秒。主和音及び開始音を与える。）

**Tempo di minuetto**

A

*mf*

*mp*      *cresc.*

*f*

*poco rit.*      *a tempo*

*mf*

**Tempo di minuetto**

B

*poco rit.*      *a tempo*

*mf*

*dim.*

■器楽曲作曲（作曲専攻作曲コース）

次の 2 つのモティーフのうち、どちらかを用い器楽曲を作曲しなさい。  
速度、強弱、形式及び編成は自由。

☆注



☆注 長さは自由

■音楽学の基礎的能力試験（作曲専攻音楽学コース）

1. 次の英文を訳してください。

（英文省略）※

[出典：J. Peter Burkholder, Donald Jay Grout, and Claude V. Palisca. *A History of Western Music*. 9th Edition (International Student Edition). New York: W. W. Norton, 2014. 3 頁所収。]

※英文は、本学管理棟 2 階 入試・広報課において閲覧できます。

閲覧時間 午前 9 時から午後 4 時まで

ただし、土・日曜日、祝日等大学事務局が休業となる日は除きます。

# 入学願書記入例

(記入例は器楽専攻弦楽器コース)

Yを記入する。

・記入しない。

試験区分	平成29年度 愛知県立芸術大学入学願書			
	G 一般入試	試験場コード	888888	
	Y	センター試験受験番号	8888	
	W 社会人特別入試 美術 Z 自己推薦特別入試 美術 推薦入試 Y 自己推薦特別入試 音楽	発行回数	8	

・貼付しない。

センターテスト成績請求票 貼付欄
---------------------

・該当する数字を記入する。

美術学部	〈美術科〉 1 日本画 2 油画 3 彫刻 4 芸術学 8	音楽学部	1 作曲(作曲) 2 作曲(音楽学) 3 声楽(女声) 4 声楽(男声) 5 器楽(ピアノ) 6 器楽(弦楽器) 7 器楽(管打楽器)	〈音楽学コース〉 11 英語 12 独語 13 仮語	〈器楽〉 21 ヴァイオリン 22 ヴィオラ 23 チェロ 24 コントラバス 25 ハープ	31 フルート 32 オーボエ 33 クラリネット 34 バースーン(ファゴット) 35 サクソフォーン 36 ホルン 37 トランペット 38 トロンボーン 39 パストロンボーン 40 ユーフォニアム 41 テューバ 42 打楽器	
	〈デザイン・工芸科〉 5 デザイン 6 陶磁		6 21				
高等学校等	1 2 3 4 5 A 課程 1	1: 昭和 2: 平成	卒業(見込)年月	2 29 年 03 月	1: 昭和 2: 平成	生年月日	2 11 年 01 月 08 日
学校名:	愛知県立岩作高等学校						
氏名	アイチ ハナコ			性別 2 1: 男 2: 女			

郵便番号及び電話番号はハイフンを使用せず、数字のみ記入する。その際、文字と半濁点をあわせて一枠で記入する。

住所	〒 480-1194	TEL 0561-6211808	緊急時の連絡先 TEL( ) -
	都道府県市町村大字 愛知県長久手市	町名・字以下 岩作三ヶ峯1-114	←枠からはみ出さないように記入してください。
所	マンション コ一ポ三ヶ峯1-201		*

記入しない。

29

平成 29 年度  
愛知県立芸術大学  
受験票

※ 受験番号	(記入しない)
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	( ヴァイオリン )
試験日には、必ず受験票を持参すること。 ※一般入試の受験生は、本受験票に加え、センター試験受験票も持参すること。	
問い合わせ先 愛知県立芸術大学 入試・広報課	
480-1194 愛知県長久手市岩作字三ヶ峯1-114 0561-76-2603	

(注) ※印欄は、記入しないこと。

(29) 入学検定料納付証明書貼付欄	
※ 受験番号	(記入しない)
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子

29

平成 29 年度  
愛知県立芸術大学

受験者写真票

写真貼付欄  
(4cm×3cm)  
正面、上半身、脱帽  
出願前 3ヶ月以内に  
撮影したものをこの  
枠内に正しく貼るこ  
と。

※ 受験番号	(記入しない)
ふりがな	あいち はなこ
氏名	愛知 花子
志望学部	音楽 学部
専攻	器楽 専攻
区分	( ヴァイオリン )

(注) ※印欄は、記入しないこと。

## 入学願書等記入上の注意

- 1 願書はコンピュータ処理をしますので、折り曲げたり汚したりしないでください。
- 2 必ず黒のボールペンを使用してください。
- 3 措書で丁寧に枠内へ記入してください。（絶対に枠外へはみ出さないでください。）
- 4 氏名欄の小さい枠は文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入してください。氏名欄の大きい枠及びその他の枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。

1 0 - 1 ダイガク タイイカク

- 5 記入ミスをしたときは、

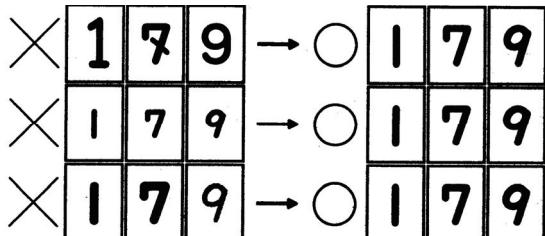
2 3 誤記した文字に二重線を引き、その上の空欄に  
0 1 3 2 正しい文字等を記入してください。

- 6 記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

次の点には、注意してください。

- ・ 文字に飾りをつけない
- ・ 適度な大きさで
- ・ 濃すぎず薄すぎず



文字記入例	
英字 ABCDEFGHIJKLMNOP	カナ アイウエオカキクケコサシス セツタチツテトナニヌネノハ ヒフヘホマミムメモヤユヨラ
数字 0123456789	リルレロワン。"

## 各項目の記入方法等

### 入学願書

- 1 左上の□□□□□□□□は、何も記入しないでください。
- 2 試験区分欄  
受験する試験区分上にあるYを、□の中へ記入してください。
- 3 試験場コード欄  
センター試験受験番号欄  
発行回数欄  
以上については、何も記入しないでください。

#### 4 センター試験成績請求票貼付欄

**センター試験は課さないので、貼付する必要はありません。**

#### 5 美術学部・音楽学部欄

美術学部欄の□は空欄のまま記入しないでください。

音楽学部欄の□に専攻の前の数字を記入してください。

また、作曲専攻（音楽学）を希望する者は、受験する語学の前の**数字**を記入してください。

器楽専攻（弦楽器・管打楽器）を希望する者は、楽器種別の前の**数字**を記入してください。

#### 6 高等学校等コード欄

(1) □□□□□□□に高等学校等のコード番号と高等学校名を記入してください。コード番号は、大学入試センター試験の受験案内を参照してください。（高等学校名は、国立○○高等学校、○○県立○○高等学校又は私立○○高等学校等と記入してください。）

(2) 課程の□に1、2、3のいずれかを記入してください。

#### 7 卒業（見込）年月欄

記入例どおり記入してください。

【例】

1:昭和	2:平成	卒業(見込)年月				
2	2	9	年	0	3	月

#### 8 氏名欄

(1) 上段の小さい枠の□にはカタカナで、下段の大きい枠の□には漢字で記入し、性別横の□に男性は1、女性は2を記入してください。

(2) 上段の小さい枠は、文字1枠、濁点及び半濁点1枠で記入し、下段の大きい枠は、文字と濁点及び半濁点をあわせて1枠で記入してください。

(3) **姓と名の間は1枠あけて記入してください。**

注1：日本国内に居住し、氏名を漢字で表記する外国人で、通称名を用いている場合はその通称名を記入してください。以下、氏名記入欄は、同様の方法で記入してください。

注2：氏名を漢字以外で表記している外国人は、ファミリーネーム（姓）を先に、ファーストネーム（名）を後にし、ミドルネームは省略して、ローマン・アルファベットを用いて大文字・活字体で記入してください。また、ファミリーネームの次に、「,」（カシマ）を記入してください。

#### 9 生年月日欄

(1) 一番左の□に年号を示す数字の1又は2を記入してください。

(2) 年月日は、それぞれ2桁の数字で記入してください。

（1桁の場合は、0を先に記入してください。）

(3) 年は、西暦で記入せず、和暦で記入してください。

記入にあたっては、次の例を参考に年月日を記入してください。

【例】平成11年1月8日生まれの場合

1:昭和	2:平成	生年月日							
2	1	1	年	0	1	月	0	8	日

## 10 住所欄

郵便番号、電話番号及び住所を□内に1字ずつ記入してください。

なお、郵便番号及び電話番号は、ハイフンを使用せず数字のみ記入し、住所の丁目、番地、

号はハイフンを使用してください。また、電話番号は左詰めで記入してください。

また、050で始まるIP電話番号は記入しないでください。

(1) 緊急時の連絡先は、緊急に連絡する場合の連絡先が左の連絡先電話番号と異なる場合にのみ記入してください。同一の場合は何も記入しないでください。

(2) 住所は、確実に連絡を受けられる住所を都道府県から記入してください。また、団地・マンション等に居住している者は、棟番号・戸番まで必ず記入し、下宿の場合は、○○方と記入してください。

なお、住所の変更があった場合は速やかに郵便で愛知県立芸術大学入試・広報課へ送付してください。

## 受験票及び受験者写真票

- 1 氏名、ふりがな、志望学部、専攻（作曲、声楽、器楽のいずれか）を記入してください。
- 2 区分欄（　）へは、作曲専攻志望者は作曲、音楽学のいずれかを、声楽専攻志望者は声種別（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト等）を、器楽専攻志望者は楽器種別を記入してください。
- 3 写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影した写真（正面・上半身・脱帽・縦4cm×横3cm）を所定の位置に貼ってください。

### （記入例）

・声楽専攻

区分（ソプラノ）、区分（テノール）

・器楽専攻弦楽器コース

区分（ヴァイオリン）、区分（コントラバス）

・器楽専攻管打楽器コース

区分（フルート（a））、区分（ホルン）、区分（打楽器（B））など

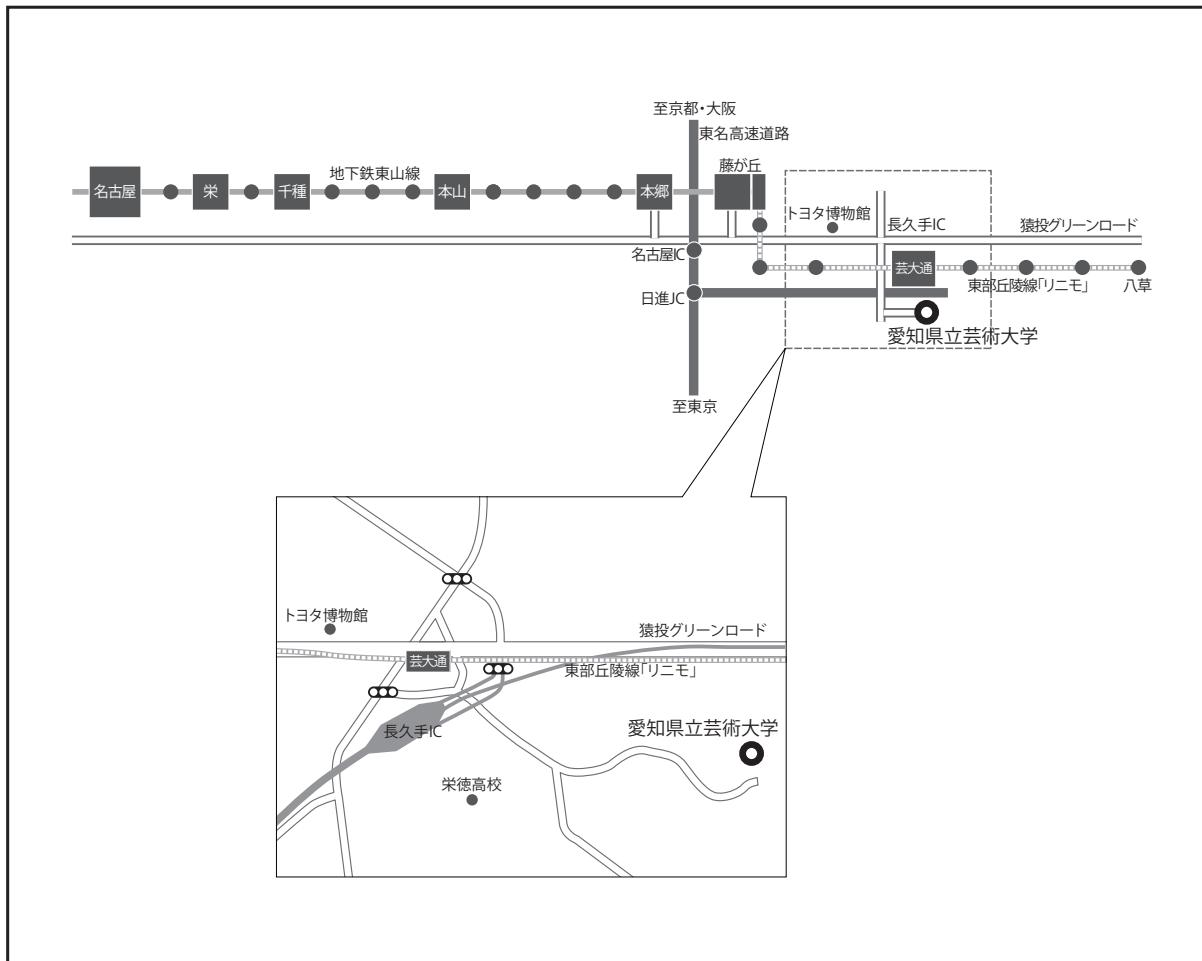
## 入学検定料納付証明書貼付票

氏名、ふりがなを記入し、検定料納付証明書を貼付欄内にのり付けしてください。

### **振込にあたってのお願い**

- ・ 振込用紙により、全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口で、お振込みください。  
ATM（現金自動預払機）からは、送金しないでください。
- ・ 振込手数料は、各自ご負担ください。
- ・ ゆうちょ銀行及びコンビニでは、納付できませんのでご了解ください。
- ・ この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。  
また、振込依頼書・受取書・検定料納付証明書は、ミシン線で切り離さないでください。
- ・ 記入例を参考に振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。
- ・ 検定料納付証明書は入学検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。

# 所 在 地 案 内 図



## ■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

## ■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

**音楽学部 推薦入試 作曲専攻(音楽学)・声楽専攻・器楽専攻(弦楽器・管打楽器)**  
**音楽学部 自己推薦特別入試 作曲専攻(作曲)**

**出願期間：平成28年10月26日～平成28年11月2日 午後5時必着**

**試験日程：平成28年11月26日、27日**

**合格発表：第1次選考/平成28年11月17日**

**最終選考 /平成28年12月5日**

**入学手続：平成28年12月22日**

**愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試・広報課**

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

TEL 0561-76-2603(入試・広報課直通)

入試情報提供専用サイトURL <http://nyushi.aichi-fam-u.ac.jp/>

